

Rotary



OKAYA

岡谷ロータリークラブ

- 会長／林 裕彦
- 副会長／佐伯克己・瀬戸雅三
- 幹事／太田博久
- R 情報(会報)委員長／上條英雄

- 事務所／岡谷市中央町 1-4-1 ・ Tel/0266-22-6939 ・ Fax/0266-23-6939
URL: okayarc.org ・ Email: okayarc@bz04.plala.or.jp
- 例会／毎週火曜日 PM12:30 ホテル岡谷

第 2846 回例会 2018 年（平成 30 年）9 月 11 日(火)

点 鐘：林 裕彦 司 会：山岸邦太郎
斉 唱：手に手つないで ラッキーNo：NO. 14 尾関秀雄
表 彰：米山功労者第 5 回マルチプル 牛山幸一
結 婚 祝：笠原新太郎

会長挨拶

皆さん、こんにちは！大阪なおみ全米オープン優勝よかったですね。優勝のスピーチ感動しました。

最初に本日のゲストを紹介させていただきます。

VC長野トライデンツ監督の笹川星哉様です。ようこそいらっしゃいました。後ほどお話をいただきます。どうぞよろしく願いいたします。

4日の今世紀最強の各地に大きな被害を与えた台風 21 号に続き、その傷あとも癒えない6日に最大震度7の北海道胆振東部地震が発生しました。被害の甚大さに只々驚きと恐怖を感じました。犠牲になられた方のご冥福をお祈りし、被災された方々に御見舞いを申し上げますと共に一日も早い復興を願いたいと思います。

さて、今日は9月11日(火)、9.11世界中を震撼させたアメリカ同時多発テロ事件が17年前の2001年に起きました。世界貿易センタービルにハイジャックされた航空機が北棟と南棟のツインタワーに激突し爆発、炎上しました。私も夜11時少し前から朝まで「えっ！何！」「まさか本当に？」と自分の目を疑いながら、信じられない光景をテレビに釘付けになっていた事を思い出します。3,000人にもものぼる市民が、いつもと変わらぬ生活をしていた市民が、アルカイダの犯行により突然生命を奪われました。その事件がきっかけで米国と有志連合により、その後アフガニスタン紛争、イラク戦争へと不幸な複合合戦のスパイラルへと入って行きました。それから現在まで何十万人の市民が犠牲になっても、平和は訪れるどころか、未だにISとの戦争や世界各国でテロ、紛争が続いているのが現実です。

私達ロータリアンは地球の為に、世界の為に、日本の為に、長野県の為に、郷土岡谷の為に、地域社会の為に、そこに生きる人々のささやかな幸せ実現の為に、小さな力でもその力を結集して仕事を通して、ロータリー活動を通して、少しでも困っている人の為に貢献できればと思わずにいられません。

以上、会長挨拶とさせていただきます。

幹事報告

- 次週 9/18(火)は休会となります。
- 次回 9/25(火)は親睦ゴルフコンペ（諏訪湖CC）と夜間例会（観光荘）です。
- 10/2(火)はガバナー補佐訪問になります。役員・理事・委員長の皆様は、例会後クラブ協議会(15:00頃まで)がありますのでよろしくお願い致します。

委員会報告

親睦委員会 9/25は親睦ゴルフです。諏訪湖CCに9:20集合です。夜の夜間例会にて表彰式を行いますのでよろしくお願い致します。



卓話「VC長野トライデンツの紹介」

VC長野トライデンツ監督 笹川 星哉様

皆さん、こんにちは。本日はお招きいただきありがとうございます。

VC長野トライデンツはバレーボールチームです。VリーグとはサッカーのJリーグと同じでV1～V3のカテゴリーに分かれています。

VC長野は今シーズンよりV1リーグに参入することができました。その中でも私たちは唯一地域密着型のクラブチームであり、豊富な資金力のある企業チーム相手に挑んでいくわけです。活動資金については地域のスポンサー様のお力添えをいただき年間の活動ができています。毎日恵まれた環境で練習のできる企業チームと違い、私達はそこまでの資金力がまだないので、現在選手たちは全員フルタイムで仕事をし、就業後に二時間程練習をしてリーグ戦に臨みます。V1リーグですので全国でやる試合も交通費は自腹、金曜日は有給を取り移動日に充て、土日試合、そして月曜日は朝から出勤というスケジュールになります。選手たちも厳しい環境の中戦っていますので応援していただけるとありがたいです。また、このような環境の中でもV1リーグで良い成績を収められればバレー界にも位置づけができ、長野県も注目されると思うので今シーズン頑張りたいと思います。

VC長野がV1リーグに上がるまでの過程ですが、長野県は小中高とバレーボールが盛んで全国大会でも活躍しているにも関わらず、Vリーグのチームが無いため大学を卒業後、地元に戻ってくる受け皿がなかったのです。当時私はNEC長野という実業団チームに所属していて活動費等は企業が出してくれるので当たり前のようにバレーをしていましたが、2007年秋リーマンショックの時期に、突然部長に何の前触れもなく今日で廃部と言われ練習の場を失いました。私自身は現役引退を考えましたが、まだやりたいという私の後輩たちのためにチーム作りを考え、やるからには上を目指しVリーグチームを創ろうと決心し、長生きできるチームにするためには地域の皆様の協力を得れるクラブにして、VC長野トライデンツというクラブチームを起ち上げました。しかしクラブチームにするには資金が必要で、ノウハウがない私は飛び込み営業の毎日でした。怒られることも多く提案書を投げつけられた事もありました。でも私としては動くことだけでしたので、動いて動いて知ってもらい頭の片隅にでも残してもらえればという思いでした。3年経ってもスポンサーは付かず駐車場でボール練習、体育館の周りを走るといったことしかできませんでした。それでも選手皆で貯金をして、Vリーグの下の地域リーグに出場することができましたが遠征費も全て自腹な

ので志があるメンバーでないとやっていけない状況でした。

少しずつ人数も増え地域リーグに関わることで環境も整ってきました。飛び込みで伺った市民新聞さんにも取り上げてもらえるようになり、そのご縁で今も仲良くさせていただいてます。飛び込みの繰返しでしたが、だんだんと人と人が繋がって当時10社弱だったスポンサーさんが現在は約100社あり、本当に人との繋がりで私たちVC長野トライデンツはV1に上がったと強く感じています。気持ちばかり先走って自分自身を上手くコントロールできず辛く悩んだ時期もありました。そんな時に、間違っていないよ、頑張れ！と応援してくれた方の言葉が踏ん張れた原動力になったと思います。絶対夢を叶えてやる！と思いました。

2015年に地域リーグを全勝優勝でき、V3リーグに参入できました。夢が叶ったことは勿論ですが、少しずつ抜けていく中ずっと付いてきてくれた子たちが現役のうちにVリーグというステージに上げさせる事ができたのが一番嬉しかったのです。V3リーグは17勝1敗で優勝し、リーグ入替え戦でV2リーグに昇格しました。2年間V2リーグで戦い、昨年Vリーグ機構が新リーグを起ち上げると言う事でV1リーグが2チーム増え10チームになりました。V1リーグになると資金もかなりかかり、体育館も3,000人規模でないといけないのですが、何とか条件を満たしV1リーグに昇格できました。タイミングも運も良く、奇跡と人との繋がりで助けられV1リーグまで上って来れました。

また、何も無いと言われる南信地域を、松本や長野に負けないひとつの地域にするために、地元でも試合のできるアリーナの計画を県に投げかけています。大きなものができる事で地域の活性化にも繋がると思います。まずは私たちVC長野トライデンツがV1リーグでしっかり活躍し、メディアに出て多くの方に知ってもらう事で、スポーツによる地域の盛り上がり、人との繋がりが作れるようなクラブになれば、その夢も絶対叶うと思っています。私のV1リーグという夢が叶った先に、今度は施設面で見えないものを形にしていくという夢ができたので、魅力あるクラブを築いていこうと思います。

VC長野トライデンツの由来は3つの刃という意味です。「チームが強くなる事」「パートナーの皆様がいなければ成り立たない事」「地域がひとつにならなければ夢は叶わない」この3つの力を合わせて頑張ろうという想いから名付けました。チームとしても、代表である私もまだ未熟ではございますが、応援して下さい方を喜ばせ楽しませるプレーをしていきますので、運営面、地域作りという面でスポンサーも含めご支援、お力添えをいただけたらと思います。どうぞ、これからもよろしく願いいたします。本日はありがとうございました。

： 現行リーグと新リーグの変遷

	現行リーグ (Vリーグ)	新リーグ (スーパーリーグ)
登録料	100万円	500万円
ホームゲーム観客数	20万円 / 2日割	100万円 / 1日割
ホームゲーム運営	信濃県民局 パレオホール協会主体	チーム主体
ホームゲーム開催施設 想定収容人数	1,500人	3,500人

： 現在のVリーグ構成



東レアローズ	豊田合成トフェルサ	ジェイテクト STINGS
サントリーサンパズ	パナソニックパンサーズ	
堺ブレイザーズ	Jサンダーズ	FC東京
大分三好ヴァイセアドラー	富士通カワサキレッドスピリッツ	
VC長野トライデンツ	大西特殊鋼レッドスター	
トヨタ自動車サンシャークス	つくばエナジーTD Sanyo EA	
警視庁フォートファイターズ	埼玉アディレ	
東京ヴェルディ	きんでんトリニティブリック	近畿クラブスフィーダ
長野グリーンズ	千葉セルパ	兵庫デルファイ
奈良H&M ドリーマーズ	東京トコボットグリーンズパークル	
ヴォレアス北海道	ワイアティン三鷹	

： VC長野の抱える問題

① 専用の体育館がなくその都度場所探し
② 十分な練習時間の確保ができていない

#1. 選手の環境面

【現在のVC長野トライデンツ】

月	火	水	木	金	土	日
10月	10月11日 トレーニング 18:00-21:30	10月12日 チーム練習	10月13日 トレーニング 18:00-21:30	10月14日 チーム練習	10月15日 チーム練習 18:00-21:30	10月16日 チーム練習 18:00-21:30
10月17日	10月18日	10月19日	10月20日	10月21日	10月22日	10月23日

【現在の某企業チーム】

月	火	水	木	金	土	日
10月	10月11日 個人トレーニング 18:00-21:30	10月12日 個人トレーニング 18:00-21:30	10月13日 個人トレーニング 18:00-21:30	10月14日 個人トレーニング 18:00-21:30	10月15日 個人トレーニング 18:00-21:30	10月16日 個人トレーニング 18:00-21:30
10月17日	10月18日	10月19日	10月20日	10月21日	10月22日	10月23日

	仕事面	身体面	練習面
企業チーム	【リーグ開幕前】 平日：仕事 午後：練習 【リーグ中】 平日：トレーニング 午後：練習	【練習終了時間】 21:00頃	【練習内容】 40分 金銭が莫大に動いているので、 練習内容はチームの都合次第
クラブチーム VC長野トライデンツ	【リーグ開幕前】 フルタイムで就業 就業後練習時間 【リーグ中】 フルタイムで就業 就業後練習時間	【練習終了時間】 21:30頃	【練習内容】 40分 金銭が莫大に動いていない上に、 フルタイム勤務後の練習なので 負担によっては練習できない練習も バリエーションが豊富

#1-1. 選手の雇用形態について

〔雇用に関する選択肢〕

- 1. 完全プロ化
- 2. 企業化
- 3. 半日企業・半日クラブ

完全プロ化 決断として、新設したトライデンツリーグ及びVリーグの選手事業を行っていること

《一日の練習スケジュール》

9 個人トレーニング 12 ファンタイム 13 練習 (約2時間) 15 ボディメンテナンス

選手によっては上にも良い環境

《完全プロ化による期待と懸念》

期待	懸念
<ul style="list-style-type: none"> 選手・スタッフがバレーボールに専念できる (シニアに結果を求められることができる) 地域活動に参加しやすくなる (予定を合わせやすい) 地域活動活動の非効率性を抑やせる (予定を合わせやすい) 	<ul style="list-style-type: none"> クラブ側の意思の安定化 セカンドキャリア事業の確立

《スポンサー側への特典》

- 企業立地の環境優待権利 (アリーナ・練習体育館・クラブハウス・自クラブホームベース等)
- 選手の企業立寄への応用権利
- ホームゲーム招待券優先
- ホームゲーム、イベント等でのPR活動実施権利

企業化 上記チームのみである「企業チーム」化

《一日の練習スケジュール》

9 企業 12 ファンタイム 13 練習 (約2時間) 15 ボディメンテナンス

● 給与・福利厚生は会社負担 ● 午前中は社員専念、午後は練習への移行 ● リーグ中はプロ化同様のスケジュールリング実施

《企業化によるメリットと懸念》

メリット	懸念
<ul style="list-style-type: none"> 企業認知 所属選手を広告塔として起用可能 地域貢献 (スポーツを通しての地域活性化に特約的) 	<ul style="list-style-type: none"> 格差の増大 選手に及ぼす格差の対価

半日企業・半日クラブ 新たな雇用形態

《一日の練習スケジュール》

9 企業 12 ファンタイム 13 練習 (約2時間) 15 ボディメンテナンス

※ スケジュールリング内には企業化と同等化

● 給与は企業側から支払われる (＝アルバイト?) とクラブ側からの半額練習費の負担

● 午前中は社員、午後は練習への移行 ● リーグ中であっても通常上記のスケジュールリングでの活動

《半日企業・半日クラブ化による取り得と懸念》

取り得	懸念
<ul style="list-style-type: none"> 数いた分のみの給与ながら得る練習費がある 所属選手を広告塔として起用可能 地域貢献 (スポーツを通しての地域活性化に特約的) 	<ul style="list-style-type: none"> 半日のみの人材を雇う理由 福利厚生が不透明になる恐れ

新リーグ紹介

2018年より、新リーグへ移行

- 従来の続ける新リーグ建設
- 官民連携による新リーグ
- 世界一のプロバレーボールリーグへ
- バレーボールを主軸としたトップアスリートスポーツへ
- アリーナが拠所になるファンファーストリーグへ



現在のプレミアリーグ8チーム + 現在のV・チャレンジリーグ1内2チーム = 10チーム

- ◎ 全日本に選出される選手のプレーが見られるように
- ◎ 地元所属選手が全日本に選出される可能性が浮上
- ◎ “スポーツでの街づくり”のスタートラインに

⚠ 1部で戦い続けていけるほどの資金面・環境面には至っていない
 >>> 地域住民や企業と一体になり、1部で戦い続けられるように

ニコニコボックス

宮坂 伸 創業40周年を機に院長を息子に譲りました。墓前で交替式をして来ました。

上條英雄 創業月です。これからもよろしくお願いいたします。

宮阪晃介 創業月です。今後ともよろしくお願いいたします。

牛山幸一・太田博久・小口 隆・小口泰史・尾関秀雄・笠原新太郎・片桐伸介・北澤洋之介・小林大介・佐伯克己・薩摩 建・佐藤有司・高木昭好・高木克彦・竹村一幸・中嶋孝一・中畑隆一・中村文明・濱 俊弘・林 尚孝・林 裕彦・林 靖高・平沢清文・宮澤由己・守屋麻里・矢島 進・矢島 實・山岡俊幸・山岸邦太郎・山崎典夫 VC長野トライデント監督 笹川星哉様、卓話楽しみにしています。

出席報告

会員数43名、出席者35名、出席率83.33%、前々回訂正100%

2018-2019

岡谷ロータリークラブテーマ

「共に前へ繋いで行こう」



2018-2019 年度RIテーマ

インスピレーションになろう

BE THE INSPIRATION

